

第2回府中市生涯学習審議会における生涯学習サポーターについてのまとめ

- (サポーター登録者一覧について)実際にどのような人物かがわかりにくい。余白にその人の顔写真や指導中の写真、プロフィールなどを書いたり、フォントや色を変えてみたり、工夫してみるのもいいのではないか。
- 市民に知ってもらうための広報をしっかりとすることが必要である。
- 文化センターにも一覧の冊子は置いてあるが、個人にPRしても意味があまりない。依頼するのは団体であるため、そこに向けての広報が必要。
- 職場等への働きかけもあるのではないか。有能な働き盛りの方や専門的知識を持つ方などからも参加してもらうには、また、参加しやすくするためには職場の理解が不可欠である。市内には積極的に、地域社会に貢献されている会社がいくつもあると認識しているが、さらに広く、会社や団体ぐるみの地域社会貢献意識の向上について呼び掛けていくことも必要ではないだろうか。
- 会社ごとに理念や考えが違う。会社で社会参加を評価するところもあれば、「働き盛り」、「働かせ盛り」で、自分自身のキャリアを見据えている世代にとっては、生涯学習への協力はそう簡単なことではない。